

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 109 号 2007.5.25

お待たせしました、新茶です！

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。



市川生産グループ（静岡県宇佐美・長者が原）
4/29, 30 に宇佐美で 205.4 キロ、5/12, 13 に長者が原で 207.7 キロの収穫があり、参加者はのべにして 150 名でした。宇佐美に初めて行った方は「とても景色が良い所で、鳥の鳴き声を聞きながらお茶摘みをし、天国的な一日でした」と感動されていました。また「木がとても健康的だと思いました。係の方が毎月足を運んでお世話をされている事を思うと、このお茶の貴重さを実感します」という感想もありました。雨が多かった去年に比べると、今年はお茶摘み当日もお天気に恵まれ、味わいも良いと思います。

三六九会（埼玉県入間市）

5/13、参加者 36 名で 106.8 キロの収量。今年はほとんど葉の伸びにムラがなく、良い状態でした。機械刈りした葉の選別（古い葉や枝を取り除く）もしっかりでき、とても良いお茶になりました。参加した方からは「新芽のやわらかさに感動した」「お茶を作るのがこんなに大変な作業と知り、粗末にできないと思った」などの感想がありました。

最近たまたま訪れたカメラマンの方に「周りのお茶畑と全然色が違うのはなぜですか」と聞かれ、無施肥無農薬栽培であることをお話ししたら、びっくりされていました。慣行農法では窒素肥料により葉が深緑色になりますが、無施肥無農薬栽培では明るい緑色です。来年はぜひ見に（摘みに）来てください。



お茶の葉の香りの中で楽しく選別

奇跡のリンゴ園！ 中島農園を訪ねて



中島さん（左）と、有志の方たち

5 月 9 日晴れ。数人の有志のメンバーと共に、群馬県吾妻郡の中島農園に、リンゴの花摘みのお手伝いに行ってきた。105 本の無施肥無農薬のリンゴの木は、白い花を咲かせ、私たちに歓迎してくれました。夏を思わせる陽射しの下、大きなリンゴが実ってくれることを願い、中心花だけを残して周囲の花を摘み取る、花摘みを、中島さんの指導のもとに行いました。中島さんが、一部のリンゴ園（15 アール）を、不可能と言われていたリンゴの無施肥無農薬栽培に切り替えて、今年で 6 年目になります。4 年目の一昨年、木は弱り、収穫ゼロというどん底を味わったものの、昨年なんとか 700 個のリンゴがなり、そこから 83 本のジュースを作ることができました。NHK の番組や新聞、雑誌で取り上げられている、青森の木村さんのリンゴの木が、8 年でやっと収穫に至った経緯にくらべると、3 年早く、まさに「奇跡のリンゴ」だと思いました。



今年も、中島さんは安全なリンゴのさらなる収穫を願い、「土に着目していきいたい」と言われています。リンゴ栽培において、土の力を生かすとはどういうことか？ 果樹栽培は土を耕すわけではないので、以前は土に目が行かなかったそうですが、リンゴの出来不出来と土の関係を学ぼうと、今年は山の土を客土したり、除草したり、逆に雑草との共生を図ったり、また病気対策のため根元にえん麦を植えるなど、試行錯誤されています。土を口に含み「違和感がない」とも言われていました。いずれにしろ「土自体に不純物を混ぜない」という姿勢を保っています。また、害虫を防ぐため、酢の散布をしていますが、散布しない木を増やし、いずれは止めていきたいとのこと。将来を見すえ、挿し木作りも 2、3 年取り組まれています。

中島さんは同時に減農薬のリンゴも栽培されていますが、比較すると、無施肥無農薬のリンゴの木は、まだまだ本来の元気に至っていないように感じられます。根にはモンパ病（この病気のため数本の木が枯れました）枝には腐乱病、その対策として、木肌を削り、墨汁を塗ります。他は害虫や斑点落葉の心配などがあります。これを例えるなら、ドラッグの使用を止めた人が、禁断症状に苦しみながら、社会復帰しようと懸命に努力しているような状態で、病気にじっと耐え、乗り越えようと、けなげにがんばっているリンゴの木の姿に、感動を覚えずにはいられませんでした。やがては病気の心配から開放された、完全な無施肥無農薬のリンゴの木になることでしょう。

中島さん、有志の方々と共に花を摘み、木一本一本に声を掛け、心、身体に安全な「奇跡のリンゴ」が一個でも多く実ることを祈った、充実した一日となりました。（編集部 針貝）



お知らせ

< 自然農法体験学習 > 長野県木島平 堀農園
6/9(土)、6/23(土)~6/24(日)

田んぼで草取りの応援をしながら生育中の稲を間近で観察、そして生産者の方に直接質問もできます。宿泊コースと日帰りコースがあります。詳しくは案内状をご覧ください。（申込み〆切 6/3）

< 自然農法頒布会 > TOREK 東中野会場
6/17(日) 12:00~16:00

無施肥無農薬栽培の作物を販売します。野菜の他、お茶やジュース、自然卵を使ったお菓子などの加工品もたくさん。なによりも安全、そして素材本来のおいしさを味わえます。なくなり次第終了ですので、お早めに！ 食について考えるセミナーもあります。

TOREK 鎌ヶ谷会場も毎月開催しています。6/19(火) 11:00~

< 自然農法勉強会 > 6/8(金) 午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~ 別院講堂

無施肥無農薬栽培作物の販売予定

生産者の方々が直接販売されます。

6 月 3 日 於：伊都能売会館

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 中島農園 : フキ、サヤエンドウ、ハツカダイコン、カブ、ミズナ、チンゲンサイ
- 飯塚農園 : ヤワハダネギ、イチゴ
- きじま平自然農産 : 小麦粉、青豆、黒豆、豆菓子、きのこめし
- 市川生産グループ : 新茶、みかんジュース（1リットル、コップ入り）
- 長柄山自然農園 : 卵、鶏ガラ、ひき肉
- 針貝成代さん : クッキー
- 宮澤弥生さん : マドレーヌ、ガレット、プリン、シュークリーム、みかんジュースゼリー



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>